

## 自然解説員の巡視日記 その8

2018年7月16日 晴れ



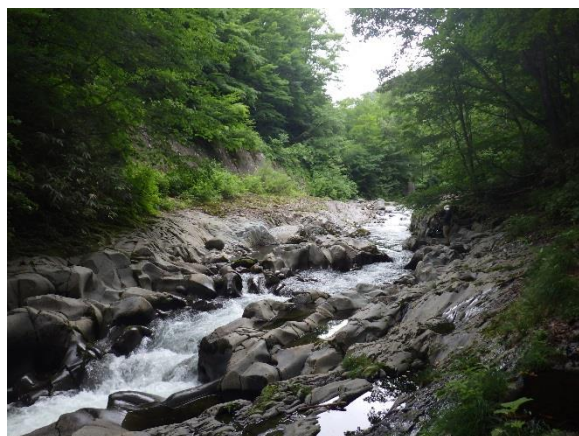
秋元・中津川渓谷探勝路

### きらめく彼の<sup>あし</sup>脚は・・・

夏に秋元・中津川渓谷探勝路を歩くと、コムラサキという<sup>はね</sup>翅が紫色に輝くチョウがみられることがあります。中津川渓谷探勝路の近くにはコムラサキの幼虫が食樹としているヤナギ類が生えているため、コムラサキをみることができるのです。コムラサキの成虫は樹液や人の汗、獣の糞に好んで集まったり、川原や湿った地面に下りて吸水したりすることが多いです。

さて、この綺麗なコムラサキをよく観察してみると、脚が4本にみえます。昆虫の脚は6本のはずですが、なぜでしょう。じつは、コムラサキが属するタテハチョウ科のチョウは前脚2本が退化して、基本的にたたまれているため、4本にみえてしまうのです。この退化してしまった脚は、歩くことやつかまるためには役に立ちません。しかし、味を感じることができるのです。本来の脚の使い方より、こちらの方が生きていく上で有利だったのでしょうか。

昆虫は脚が6本という固定概念にとらわれていると、コムラサキのような脚が一見4本にみえるという発見はできないかもしれません。脚が4本にみえるということに気づけなければ、退化した脚の役割にも気づけません。昆虫に限らず何にもとらわれず観察することが新たな発見に繋がるのではないのでしょうか。



▲中津川の流れ



▲脚が4本にみえるコムラサキ

## 🌸 にとっておき！自然発見メモ 📖

自然解説員が自然のなかでみつけたとっておきの情報をおすそわけします！

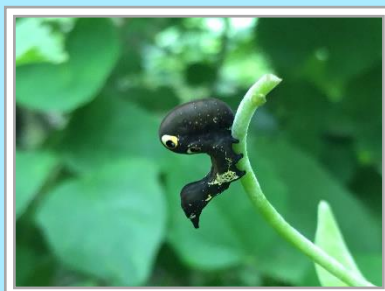
7月9日



### ババシロアシマルハバキの幼虫

白くフワフワした毛にみえるものは、「ロウ物質」です。なぜこんな見た目をしているのでしょうか？  
何はともあれ、可愛い！

7月9日



### アケビコノハの幼虫

頭を下げて体をくねらせる独特のポーズと、ギョロリとした目玉模様が何ともチャーミングな幼虫です。アケビ類の葉にいるかも！？

7月22日



### セミの羽化

普通は暗くなってから羽化するのに、14時頃に羽化していました。寝坊なのか早起きなのか。セミの羽化はいつみても神秘的です。